

## 平成29年度第2回東成区区政会議「にぎわい・きずな部会」

1 開催日時 平成29年12月15日（金） 19時30分から20時40分まで

2 開催場所 東成区民センター大ホール

3 出席者の氏名

### 【委員】

藤溪 達夫（議長）、中谷 誓吾（副議長）、阿形 正一、井上 吉史、上田 具視、北澤 高志、神藤 加代子、高橋 芙美子、松田 好行、吉谷 忠之、吉本 紀美子

### 【東成区役所】

中須賀 孝（総合企画担当課長）、原 敏浩（市民協働課長）、大野 聡（まちづくり担当課長）、唐谷 栄起（まちづくり・にぎわい創造担当課長代理）

4 委員に意見を求めた事項

平成29年度東成区運営方針（素案）について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

○中須賀課長 それでは、事務局からございましたように、ただいまよりにぎわい・きずな部会の議長、副議長を新たに皆様方の中からお選びいただきます。どなたか、推薦などございますでしょうか。

○神藤委員 議長に藤溪委員を推薦いたします。

○中須賀課長 ただいま、神藤委員から議長に藤溪委員をご推薦の声がございました。

たが、皆さんいかがでございましょうか。（拍手）

そうしましたら、異議なしということで、続いて副議長の選出です。

○藤溪委員　　すみません。私のほうから副議長に中谷委員さんをお願いしたいと思っています。

○中須賀課長　　今、副議長に中谷委員をご推薦の聲がございましたが、皆さんいかがでございましょうか。（拍手）

ご異議がなければ、再度の拍手をもって承認いただきたいと思います。（拍手）

ありがとうございます。異議なしの拍手がございましたので、藤溪議長、中谷副議長のお二人で今期2年間どうぞよろしくお願いいたします。

どうぞ議長席、副議長席の方へお移りいただけますでしょうか。

では、以降の進行につきまして、部会の議長と副議長をお願いしたいと思います。

○藤溪議長　　もう入ってよろしいですか。

ただいま、ご推薦いただきました藤溪と申します。よろしく申し上げます。

先ほど、米原議長の方からも話ありましたように、せっかくの機会ですので、忌憚のないご意見、前向きな意見をどしどし出していただきますようよろしく申し上げます。

それと、この議事が円滑に進みますように、ご協力のほどよろしく申し上げます。

それでは、中谷副議長さんからも一言。

○中谷副議長　　皆さん、こんばんは。ただいま、ご推薦いただきました中谷です。

藤溪議長とともに、皆さんのご意見を大いに引き出すように努めますので、よろしく申し上げます。

○藤溪議長　　ここで、各部会議長さん、副議長さんがお決まりになったら、全体にご紹介があるようですので、ちょっとお待ちください。

○事務局　　皆様、失礼します。各部会において、議長、副議長の選出がされましたようですので、私の方から紹介させていただきますので、ご起立の方申し上げます。

まず、にぎわい・きずな部会ですが、部会議長は藤溪委員、部会副議長は中谷委員でございます。（拍手）

次は子ども・教育部会ですが、部会議長は田中委員、部会副議長は板垣委員でございます。（拍手）

最後に保健福祉部会ですが、部会議長は石塚委員、部会副議長は林委員でございます。（拍手）

皆様方、どうぞ今後2年間、よろしくお願いいたします。

では、引き続き以降の進行につきまして、議長、副議長の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

○藤溪議長 今日4名の方が欠席されていますが、ご了承願います。

先ほど説明がありましたように、このチームは2つのテーマをいただいています。

安全で安心なまちづくりと、まちの魅力向上です。この2つのテーマについて、前半と後半に分けて皆さん方のご意見を頂戴することになるかと思えます。前半の40分間は勉強会という名前になっておりまして、各課長から課題の説明、その後は十分な意見の交換の時間となっております。この40分間の勉強会の議事の記録はないこととなっております。課長さんの説明をもうちょっと詳しく質問とか、こういうことであれば、もっとよくなるんじゃないかという提案とか、どしどし出していただいたらありがたいかなと思っています。

勉強会、自由な意見交換が終わりましたら、最後の20分は部会の皆さんの意見を集約して、全体会に報告することとなっておりますので、その集約の時間を2分とらせていただきたいと思います。

それでは、原課長さんの方からよろしくお願いいたします。

<区役所各課長からの資料1に基づく説明>

<部会での自由な意見交換>

○事務局　それではただいまをもちまして、勉強会を終了し、各部会意見の集約に移って行きたいと思います。

これから、議事の記録を再開いたしますので、部会議長の皆様、進行を続いてよろしくお願いいたします。

○藤溪議長　今、途中になりましたが、経営課題の4のまちの魅力向上では、最後にモノづくりの体験イベントが出てきましたね。

○藤溪議長　これは今区役所がリードされているんですか。

○大野課長　区役所がリードというよりはどちらかというと工業系の町工場の方が中心にやっていただいて、いつもそうなんですけれど、我々はそのサポートや広報という形で協力させていただいています。

○藤溪議長　そうですか。うちは工場見学は大いに結構ですよとか、企業から申入れのあるリストみたいなんはないですかね。

○大野課長　過去13回、工場見学はさせてもらっています。あと、この場所で、ひがしなり街道玉手箱の中でモノフェスという体験イベントをさせてもらっています。2月には、モノづくり体験フェスタという大きなフェスタがあるんですけども、そこで企業の方に協力していただいているんですけど、なかなかその参加企業数が増えないというのは確かに今課題としてあるみたいですね。そういうあたりにもうちちょっと広がりが出てくればなと思っていますけれども。

○藤溪議長　子どもに目線を当てると夏休みとかに見学会していただいたら、PTAともどもに喜ばれるんじゃないかと思うんですけど。普段ではとてもいけませんのでね。日曜日は当然お休みですから、夏休みあたりに子どもと保護者対象の企画を増やしていただいたらありがたいかなと思います。

○大野課長　どうしても、平日となりますと工場が実際に稼働している中で、なかなかその夏休みに合わせて、子どもさんのために工場の運営が止まってしまうのも具合が悪いので、そのあたりのバランスが非常に難しいのかなと思いますけれども。

○井上委員　　今、土曜日にやっています。親子体験、大体20組ぐらいで毎回来てくれてはる。毎年2回ぐらいやっていました

○中谷副議長　　そういうところをもっと宣伝せんといかん。広報紙に載せるとか。

○藤溪議長　　ただ、やっぱり距離ありますからね。東の方だと徒歩では無理とか、路線でいかんと無理があるかもわかりませんがね、

○大野課長　　当然、皆さん親子連れで来ていただけるのでね。

○井上委員　　実は子どもさんもですけど、お父さん、お母さんの方がもっと興味持って質問してくれはったりとか、それはすごいありがたいです。

○中谷副議長　　何をお作りになってはるんですか。

○井上委員　　うちのところは板金とか溶接とかですけどね。今年80年なるんですけど、東成区でずっとやらせてもらっていて、ほんとうに社員の方も東成区に引っ越してくれる社員がいます。子どもたちが来てくれると励みになったりとか、自分のやっていることがそんなにすごいことかと子どもらが言うと喜んでくれるので、積極的にやらせていただいていますけれど。

○藤溪議長　　今年の夏休みでしたけれど、本庄中学校の東側に東洋ビューティという70年ぐらいの歴史のある化学企業があるんですけども、夏休みに子ども20名を2回、ハンドソープの製造を体験させてくれたんですね。向こうから申入れがあったんで非常にありがたかったんです。それでちゃんと白衣を着て、防護眼鏡をかけていっちょまえの化学者の格好をしてやってね。子どもも喜んだし、保護者も大変喜んで、いい企画を提供いただいたと思って。来年もやってくださるみたいですけど。

○大野課長　　ちょうど今、お話いただいた東洋ビューティさんに、今度工場見学の声を掛けようかと言っていたんですけども。

○井上委員　　「ひがしなりだより」で公募している。例えばお孫さんやお子さんと一緒に参加していただけるのが魅力の一つなんで、ぜひお願いします。

○藤溪議長　　だから、一つはその4番。あと、1のテーマですね。防災・防犯の方で

カメラに集中してしまった。あと災害時協力企業もあんまり増えていないですね。

○原課長 （現在のところ）63社ですね。

○事務局 8時40分には全体会議に戻りたいと思いますので、あと15分程度で報告内容を整理してください。よろしくお願いします。

○原課長 63社でそのうち57社についてはホームページに出してもいいよということをお願いしているんで、区役所のホームページに全部上げています。

また、1月の「ひがしなりだより」が防災特集で、防災マップを掲載しておるんですが、そこにも会社など表示するようにしていますので、ぜひどこが防災で協力企業になっているのかご覧ください。

○吉谷委員 あまり浸透されてないので、公表される方がいいですね。ほとんどわかっていないですよ。

○高橋委員 私のところは電気工事関係の会社なんですけれど、電気工事の組合では災害時協力企業というので、シールをいただいています。ステッカーみたいな。

○原課長 災害時協力企業は東成区として取り組んでいるので、東成区に登録していただいたのは、63社なんですけど、それ以外にも例えばコンビニとかであれば大阪市と協定を結んでいる。大手スーパーも大阪市と協定を結んで、いざという時は提供しますというようなことがあるので、そういう意味で言うと協力していただいている企業は実際もっと多い。

○井上委員 このひがしなり企業区民連携フォーラムは絶対成功させていただきたいですね。これ絶対大事やと思いますから。

○唐谷代理 今、63社と言ったんですけど、（井上委員の光製作所が）63番目に入っています。

○井上委員 私、ずっと忘れていて、前から言われていて、あれ、そういえば、うちの名前が載っていないなと思って慌てて登録したという。

○藤溪議長 あのステッカーをもらいましたか。

- 井上委員 いや、まだもらっていない。
- 唐谷代理 入ってもらったところですので。
- 井上委員 ほんとうにもう、申し訳ない。
- 唐谷代理 (東成区災害時協力企業ステッカーの白黒コピーを見せながら) 今、白黒なんですけれど、こういうステッカーを配らせてもらいますんで。
- 藤溪議長 オール天然色やね。
- 唐谷代理 本来、青っぽい色なんですけれど。
- 藤溪議長 となると、この課題1は防犯カメラ。
- 中須賀課長 カメラが中心になりました。もっと付けるべきという意見が多い。
- 吉本委員 中本の吉本です。防犯カメラというのを私ちょっと前に知ったんですけど、あんまり設置してるっていうの調べたらまずいんでしょうかね。知ってる人はね。
- 中須賀課長 逆ですね。防犯カメラは地域で設置されますと、カメラ作動中という、それを何か所か置いたりする。だからカメラが撮ってるよというプライバシーの問題もあるんですけれど、ここらは割とカメラがあるところやと、犯罪抑止につながると言われてます。だから、カメラがあるよというのをわからせた方がいいんです。
- 吉本委員 いいんですか。
- 中須賀課長 そういう防犯意識が高い地域やっていうことなんです。あっちもこっちもあるとなると、ここの人たちは皆防犯に対して意識が高いと。だから、こんなとこでやったらすぐ捕まってしまう。でも、コンビニでもあんなにいっぱい付いてあるのに、とことん追い込まれたら犯罪を犯してしまいますしね。ぼっちり映るのもわかっててもね。そうやから顔がばれないような感じでやってますけれどね。
- 北澤委員 初めは反対されたんですよ。プライバシーの侵害やと言って。
- 中須賀課長 そうですね。

○北澤委員 付けるのを難儀したんです。

○中須賀課長 カメラの映像から捕まったというニュースがいっぱい出たのが、出だしですよ。

○北澤委員 で、犯人が捕まりやすくなったと。

○中須賀課長 今、カメラの映像を公開して、犯人逮捕につながってますもんね。

○藤溪議長 そしたらその防犯カメラのジャンルでどういふのに絞らせてもらったらいいですかね。

○事務局 ただいま、8時30分です。8時40分には全体会議に戻ってまいりますので、あと10分程度でまとめてください。よろしくお願いします。

○藤溪議長 まとめながら、いこうかね。

○原課長 役所の立場で言えば、予算が限られているんで、何台でもいっぱい付けられるというわけではないんで。先ほどおっしゃってられましたマップで防犯カメラを把握するというお話はすごく参考になるなと思います。企業とか個人で付けられてるところと連携するとか。こういうことで地域全体で社会資源として中身を考えていかないといけないのかな。なかなか区役所の予算では。

○井上委員 もう一回強調して言いたいのがバランスなんですよ。例えば、工場ばかりの場所って夜暗いし人がいないんでほんとうに怖いんですよ。でも、バランスよくあるところというのは誰かが常にいるという部分で。先ほど言いましたように、例えば店があって、住宅があって、町工場でもいいんですけど、昼も夜もバランスよくっていうところで。

○中谷副議長 工場地帯といたら、もう夜になるとね。

○井上委員 真っ暗なるんです。

○中谷副議長 誰もおらんという感じで。

○井上委員 ほんとうに怖いですね、歩いていたら。

○中谷副議長 街灯は付いているんやけど、人っこひとりもおらんということは怖

いですね。

○原課長 東成区は私道、わたくしの道が大変多くて。

○井上委員 町内で付けてたりしますよね。

○原課長 そうなんです。先ほどの写真にありますけども、防犯灯・街灯は町会で付けていただいて、電気代を町会が出していただいているものが大変多いんです。

○井上委員 これから本当にお年寄りと企業区民の力をちゃんと活用していかなあかんとは思いますがね。人口的にもどうしてもそうなってきましたんで。たまに近所のまち歩きでうちの会社に見学会に来てくれはるんです。そういう意味では何か地域の方ともっと接点があればいいんでしょうけれど。企業も社員で運動会をやるのかないんですかね。もっと社員が地域に根付くというか、意識してもらえるようなことがあれば。

○大野課長 大人の社会見学みたいな工場見学をやっていますよね。子ども対象だけじゃなくって、大人の方に夜とか工場見学に来てもらうとか。

○井上委員 そうですね。そんなあればねえ。

○中須賀課長 今、まとめていただいている感じですね。意見の方、幅広く出尽くした感じ。一応大体の項目からね。

○事務局 皆様、ただいま 8 時 35 分になりましたので、あと 5 分で部会を終了いたします。よろしくお願いいたします。

○中須賀課長 うちの方でこの経営課題の 1 と 4 について意見を求めたところで皆さんにご披露いただいたらいいと。1 の部分では下が防犯なんですよ。

○藤溪議長 下が防犯でこれはカメラが中心でした。災害の方は、いわゆる企業の災害時協力企業の拡充ですかね。

○中須賀課長 この辺の立ち位置で言っていたらいいかなあと思うんです。ホワイトボードも参考にしながらね。

○藤溪議長 この災害時協力企業の拡充は区役所が P R してはるぐらいですかね。

具体的な策として、拡充にはどんな具体策がありますか。

○井上委員　　ひがしなり企業区民連携フォーラムをやることで、企業が集まるんじゃないですか。それで、そこで協力してもらおう。これを利用して欲しいということで、企業が一同に集まるんですよね。そこでより多くの企業が参加すればそれだけ登録もしてくれるということにはならないですかね。

○中谷副議長　　各町会もお願いに上がると。

○井上委員　　それはありがたいですよ。

○原課長　　中本地区は町会の方が直接企業に回られて。

○井上委員　　そうですか。それは本当に素晴らしいですね。

○中谷副議長　　うちは皆町会長に回らしたんですよ。自分のテリトリーでやるんで、顔見知りだから言いやすい。

○井上委員　　片江とかやったら、同級生の息子とかやりとりするんですよ。そこは行けるんですけどね、全然知らんところはなかなか行きにくいんで。それは、町内会の力はお借りしたいですよ。

○中谷副議長　　だから、清水さんに言うといってください。

○井上委員　　わかりました。よく存じあげておりますので。

○中谷副議長　　清水さんに言ったらばっちりですよ。

○藤溪議長　　まちの魅力向上の欄にありますけれど、ひがしなり企業区民連携フォーラムは災害のことにもつながっていったらということですね。もう区役所さんのPRに任せんと、地域でも汗をかけということですね。

○中谷副議長　　地域も努力せんといかんわね。我々が行ってもできないようなところは区役所の方に任せるんですよ。

○井上委員　　権威もありますね。私が行ったらどこのおやじやみたいになるんですよ。区から来ましたと言うたら、聞いてくれはるんですよ。うさん臭いやつが来たって思われるんでね。

○中谷副議長　　だから、町会で何ともできないのは区役所にお願いする。区役所にできないのは大阪市の方がする。

○事務局　　では、時間となりましたので、これをもちまして部会を終了いたします。

<全体会議会議録P10に続く>